

長野県松本文化会館(キッセイ文化ホール) 開館30周年記念

# 新日本

小泉和裕×宮田大が奏でる  
こころを貫く珠玉の世界

# フィルハーモニー 交響楽団 演奏会



チェロ

宮田 大 指揮 小泉 和裕

Program

ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 口短調 作品104  
(チェロ:宮田 大)

ブラームス:交響曲第1番 ハ短調 作品68

6/26日 16:00開演  
2022年 [15:15開場]

キッセイ文化ホール | 長野県松本文化会館 | 大ホール

S席 4,500円 A席 3,500円

U-25 S席 1,500円 A席 1,000円 (全席指定・税込)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※25歳以下の方は、当日、年齢確認のできる身分証明書等の提示をお願いする場合がございます。

※車椅子席をご希望の方はキッセイ文化ホールへお問合せください。

チケット発売 2022年4月9日(土)10時より

プレイガイド | 窓口・電話予約 | キッセイ文化ホール ☎0263-34-7100

窓口 | 井上プレイガイド、平安堂あづみ野店  
| ホクト文化ホール、長野県伊那文化会館

| インターネット | EVENT-NAGANO <https://www.event-nagano.net/>

主催 キッセイ文化ホール(一般財団法人長野県文化振興事業団)

共催 長野県/長野県教育委員会/信濃毎日新聞社

後援 (公財)八十二文化財団/市民タイムス/MGプレス/  
SBC信越放送/NBS長野放送/TSBテレビ信州/abn長野朝日放送/  
テレビ松本ケーブルビジョン/FM長野/FMまつもと

ご予約・お問い合わせ **キッセイ文化ホール** (長野県松本文化会館) ☎0263-34-7100 〒390-0311 長野県松本市水汲69-2

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて開催いたします。 ※駐車場に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



# 長野県松本文化会館 開館30周年記念

長野県松本文化会館が開館したのは、1992年7月18日。ホールで交響曲が演奏されたのは、

第1回サイトウ・キネン・フェスティバル松本の初日である9月5日。

曲はブラームス「交響曲第1番」、小澤征爾の指揮で重厚な名旋律がホールに響きわたりました。

開館30周年記念演奏会として開催する本公演では、小澤征爾等により設立され創立50周年を迎えた新日本フィルハーモニー交響楽団、指揮者に新日フィル初代音楽監督を務めた小泉和裕、ソリストにはセイジ・オザワ 松本フェスティバルでも活躍するチェロの宮田大を迎え、

ブラームス「交響曲第1番」とドヴォルザーク「チェロ協奏曲」が演奏されます。

開館から30年、ブラームス没後125周年にもあたる年に、再びブラームス渾身の名曲とドヴォルザークの傑作がホールに響きわたります。

記念演奏会に、ぜひご来館ください。

## 小泉 和裕 | 指揮 | Kazuhiro Koizumi, conductor



©Ivan Malý

東京藝術大学指揮科にて山田一雄氏に師事。第2回民音指揮者コンクール第1位受賞。第3回カラヤン国際指揮者コンクールに第1位入賞。その後ベルリン・フィルを指揮してベルリン・デビュー。

その後、ベルリン・フィル、フランス国立放送管、ウィーン・フィル、ミュンヘン・フィル、バイエルン放送管、ロイヤル・フィル、シカゴ響、ボストン響、デトロイト響、シンシナティ響、トロント響、モントリオール響など世界の主要オーケストラに客演、ルービンシュタイン、ロストロポーヴィチ等世界の優れたアーティストと共演、ザルツブルク音楽祭やラヴィニア音楽祭等への参加など欧米各地において精力的な指揮活動を行った。

これまでに新日本フィル音楽監督、カナダ・ウィニペグ響音楽監督、東京都響首席指揮者／首席客演指揮者／レジデント・コンダクター、九響首席指揮者、日本センチュリー響（大阪センチュリー響）首席客演指揮者／首席指揮者／音楽監督、仙台フィル首席客演指揮者などを歴任。

現在、東京都響終身名誉指揮者、九響音楽監督、名古屋フィル音楽監督、神奈川フィル特別客演指揮者。

21年12月、自身の半生をつづった『邂逅の紡ぐハーモニー』が中経マイウェイ新書から出版された。

## 宮田 大 | チェロ | Dai Miyata, cello



©日本コロムビア

2009年、ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。

スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。

マスメディアでも「小澤征爾さんと音楽で語った日-チェリスト・宮田大・25歳-」「らららクラシック」「題名のない音楽会」「徹子の部屋」などへ出演している。

録音活動も活発で、2021年発売の最新アルバムは、ウェールズ弦楽四重奏団、三浦一馬、山中惇史らを迎えた「Piazzolla」をリリース。2019年はトーマス・ダウスゴー指揮、BBCスコッティッシュ交響楽団との共演による「エルガー：チェロ協奏曲」をリリース。欧米盤が、欧州のクラシック界における権威のある賞の一つ「OPUS KLASSIK 2021」において、コンチェルト部門（チェロ）で受賞。

近年は国際コンクールでの審査員や、2019年ロームミュージックセミナーの講師を務めるなど、若手の育成にも力を入れている。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製A. ストラディヴァリウス“Cholmondeley”である。

## 新日本フィルハーモニー交響楽団 New Japan Philharmonic



©K.Miura

1972年、指揮者・小澤征爾、山本直純のもと自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会のほか、地域に根ざした演奏活動も特徴的。

99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。受賞歴に三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞など。

04年に音楽家・久石譲と立ち上げた“新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ”（WDO）では幅広い人気を集めている。

16年9月～21年8月、指揮者・上岡敏之が音楽監督を務めた。

22年には創立50周年を迎え、様々な記念演奏会を開催、また同年4月には佐渡裕がミュージック・アドバイザーに就任予定。

公式ウェブサイト：[www.njp.or.jp](http://www.njp.or.jp)

公式ツイッター：[@newjapanphil](https://twitter.com/newjapanphil)

公式Facebook：[/newjapanphil](https://www.facebook.com/newjapanphil)

公式Instagram：[/newjapanphil](https://www.instagram.com/newjapanphil)